

## 学級経営を点検する 園・学校経営を点検する

草津市教育会 会長 稲垣 保善

7月の声を聞き、夏休みが話題に上りつつあります。市内こども園、小・中学校での学級づくりは、順調に進んでいますか？4月当初に学級で話し合った目標に日々近づきつつありますか？

7月は、1学期の振り返りの時期でもあります。

学級の目標は、

- ① 出来るだけ具体的な目標が、いい。
- ② 決めた目標は、幼児児童生徒の目につく場所に明示するといい。
- ③ 担任は、目標を意識し繰り返し何度も何度も幼児児童生徒に語りかけるといい。
- ④ 担任は、遊びや学習生活の場で起きた出来事を取り上げ、学級目標と繋げて「何が良かったのか。どうすればさらに効果が上がるのか 幼児児童生徒に語りかけるといい。
- ⑤ 隣の先生と情報交換するといい。

担任と子どもとでつくる「学級づくり」は、日々の生活の中で醸成されていきます。担任が幼児児童生徒に語りかける時、そこには、

- ① 命を大切にする
- ② 仲良く接する
- ③ 素直に非を認める
- ④ 仲間の成功を讃え喜ぶ
- ⑤ 学級の子、一人ひとりの良さを把握して紹介する

などなど担任が大事にしたい事が、根底にあります。こうした学級づくりに大きな役割を果たすのが、学級目標です。

この学級目標ですが、幼児児童生徒に定着させるのは、至難の業です。あなたの学級の幼児に、児童に、生徒に問いかけてみてください。「今年の学級の目標は、何だったっけ？」半数の子が同じ答えをしたら、あなたの学級経営は、大成功です。多くの子が、答えに詰まったり、答えがまちまちであったりする場合がほとんどです。いかに自学級の幼児児童生徒の前で、語りかけてこなかったのか思い知らされます。学級目標が、どの子にも位置づき一丸となって目標に向かっている姿には感動します。

上記に書いたことと全く同じことが、園経営、学校経営にも当てはまります。園長と教職員また学校長と教職員との関係は、学級担任と子どもとの関係と類似しています。

## Plan—Do—Check—Action 2学期に目は向いていますか！

### 人物紹介

### 教育会会長 稲垣保善さん

保育・教育に懸命に向かう先生方を応援しています！

現在、草津市教育会の会長稲垣保善さんは、草津第二小学校、笠縫東小学校で学校長を歴任されご退職後は、スキルアップアドバイザーを経て、2015年に第15代 草津市立教育研究所所長に就任されました。研究所をご退職後も、常盤小学校、新堂中学校の運営協議会委員を務められるなど、現場で活躍する先生方をサポートするため、ご尽力いただいています。



# 令和4年度 校内研究主題

今年度の各小中学校の校内研究の研究主題を紹介します。どの小中学校でも、指導力の向上を目指して取り組まれています。ぜひ、研究内容や取り組みの情報交換に活用してください。

学校名	研究主題	教科等
志津小学校	読み解く力を生かし、「わかった！」があふれる算数科の授業づくり ～対話を通して考えを深め、学び続ける児童の育成～	算数科
志津南小学校	自分で選んだ方法で、自分の考えを発信できる子どもをめざして ～本質に迫る教材研究を通して～	全教科
草津小学校	「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくり ～ICTを効果的に活用して～	全教科
草津第二小学校	「自分のつけた力と道筋を自覚できる学びを目指して」 ～読み解く力を高め、発揮し、学びをつなぐ授業作り～	全教科
渋川小学校	仲間と共に学ぶ喜びがあふれ、「わかった」「もっとやってみたい」を実感できる授業づくり	全教科
矢倉小学校	主体的・対話的で深い学び 自ら学び、交流する児童の育成から、深い学びのあり方を探る	全教科
老上小学校	読み解く力を発揮する子どもの育成 ～読み解くプロセス「分析・整理」の指導の工夫～	全教科
老上西小学校	主体的な学びが生まれる学習をめざして ～子どもの困り感から共に学ぶ授業を創る～	体育科
玉川小学校	対話を通して、進んで発言する子どもの育成	国語科 算数科等
南笠東小学校	自分の考えを「話したい」「かいてみたい」と思える授業の創造 ～「ふりかえり」を生かした授業づくりを通して、算数科学習に主体的に取り組む態度を養う～	算数科
山田小学校	どの子にもやさしく「わかる」「できる」、確かな学力を育む授業づくり ～読む力を高めるための指導の工夫～	全教科
笠縫小学校	心が動き、発見する喜びを育む ～算数のよさやおもしろさを感じられる活動を通して～	算数科
笠縫東小学校	子どもたちの自信や意欲を培う授業の創造 ～問題発見・解決学習を通して～	全教科
常盤小学校	地域とつながり、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる子どもの育成	全教科 全領域
高穂中学校	「社会に開かれた教育課程」を目指す『たかほ学』の開発 ～総合的な学習の時間のカリキュラムマネジメント～	総合的な 学習の時間
草津中学校	「指導と評価の一体化」 読み解く力の育成～持続可能な社会の創り手を育てるために～	全教科
老上中学校	「議論や交流から学びを深め考動する生徒の育成」 ～単元の授業づくりを意識した取組～	全教科
玉川中学校	「自ら課題を見つけ、協働の学びを推進し、解決をめざす生徒の育成 ーいのちー」	全教科
新堂中学校	「聴く力」と「伝える力」を育てる、話し合い活動の充実	全教科
松原中学校	「学びに向かい合う力を高め、進んで行動する生徒の育成」 ～ESDの取組を通して課題解決に向けた学習に主体的に取り組むための授業実践～	全教科 全領域

# スキルアップ支援講座

## ●主体的、対話的で深い学びのある授業づくり

スキルアップ支援講座では、アドバイザーが学校を訪問し、対象の先生の授業参観および OJT リーダーの参観授業を通して、今年度は特に、以下の3点を授業づくりの視点について支援しています。

### ①主体的な学びのための課題づくり

1時間の授業の導入では、「今日の課題」として子どもに示す授業が増えてきました。「〇〇をしよう」というような漠然とした見通しではなく、子どもが主体性で見通しをもって授業に臨めるために、この1時間で何ができればいいのかを、子どもの声を拾いながらどんな課題が効果的なのかを対象者と共に考えています。



### ②対話によって学びを深める発問の工夫

対話によって学びを深めるためには、より明確で具体的な視点を子どもたちに示すことが大事です。そのために、対立する2つの考え方をを用いて「どちらがより適しているのか」を考えさせたり、今の状態をさらに発展させるために「どうすればもっと〇〇できるようになるだろうか」を話し合ったりするための発問の工夫について支援しています。



### ③ICT活用とその効果

オクリンクやムーブノートを使って意見交流や意見集約をしたり、ノートやワークシートに記録したものを写真に撮って発表に活用したりして、どの学級でも日常的にタブレットの活用が進んでいます。ただ、全体での確認作業としての使用もまだ多いので、タブレットを使うことで得られる効果や、個別最適な授業づくりにどのように活用できるのかについても一緒に考えています。



## めざせプログラミング的思考力

わり算の計算やたし算の筆算問題を Viscuit のプログラムで表現しています。Viscuit はシンプルなくみですが意外に奥は深いです。A→B, B→A, A→AA, AB→C などのアルゴリズムを意識せず学べます。



しゃべる！  
動く！  
タッチできる！  
ペッパーロボット  
プログラミングは  
わかりやすい。  
複数命令の順番  
によって動作が  
かわる。



スクラッチ  
図形と角の大きさ  
(5年算数)  
小学校タブレット・ホーム画面にあります！  
草津市学習教材→草津市Scratchプロジェクトより

### プログラミングのツボ

★基本は教え、課題は児童・生徒が解決する

「〇〇するためには、どうプログラミングする？」

「動かないのは、なぜ？」

「どこを工夫しているかな？」

★ずっと{考える→確かめる→また考える→確かめる}の繰り返し。

## 令和4年度草津市教職員夏期研修講座のご案内

No.	講座名	主な内容	講師	日時	場所
1	人権教育講座①	<p>「健全な自尊心を育む～事実を实践で語る人権教育の实践より～」</p> <p>お互いの人権を尊重し合うとともに、折れない心でこれからの社会を生きていくためには、健全な自尊心を育てていくことが大切です。そのために、くらしの事実をどのようにみとり、どのように価値づけていくかが私たちに求められます。事実と实践で語る人権教育の取り組みから、二学期に向けて实践意欲の向上を目指します。</p>	<p>教育研究所 スキルアップアドバイザー ザー 山崎 賢さん</p>	<p>7月27日 (水) 13:30 ～ 16:00</p>	教育研究所 研修室
2	人権教育講座②	<p>「LGBTsの児童生徒の存在を認識した学校での取り組み」</p> <p>文部科学省が2016年4月に発表した性的思考と性自認に関する教職員向けの資料の作成協力や監修をはじめ、全国各地で研修講師を務められている日高先生に、LGBTsに関わる学校での実践的な取り組みを行うための様々なヒントをいただきます。 <u>事前に<a href="https://www.youtube.com/watch?v=G9DhghaAxlo">https://www.youtube.com/watch?v=G9DhghaAxlo</a>をご覧くださいとより充実した研修機会となります。ぜひご覧ください。</u></p>	<p>宝塚大学 教授 日高 庸晴さん</p>	<p>7月25日 (月) 13:30 ～ 16:00</p>	教育研究所 研修室
3	生徒指導講座①	<p>「気になるあの子とつながろう～「愛着」を視点に～」</p> <p>友だちとのトラブルが多い子ども、感情表現や対人コミュニケーションについて課題があると感じる子ども…気になるけどどうしたらいいのか分からないと対応に苦慮することはありませんか。もしかしたら、その背景に「愛着」の問題が隠れているのかもしれない。今回の講座では、「愛着」を視点においた子どもの見立て、具体的な関わり方について教えていただきます。</p>	<p>長野総合法律事務所 弁護士 草津市学校問題 サポートチーム アドバイザー 峯本 耕治さん</p>	<p>8月2日 (火) 9:30 ～ 12:00</p>	教育研究所 研修室
4	生徒指導講座②	<p>「危機管理的な視点で事例を見立てる生徒指導2～事例検討を通して～」</p> <p>不登校・いじめ対応・学級崩壊の支援・家庭環境・ヤングケアラー etc 現代の子どもたちを取り巻く様々な問題が網羅されている事例をもとに、危機管理的な視点で見立て・指導支援・対応していくための方法を演習を通して一緒に考えてくださいます。また、普段はなかなか聞くことができない法的な視点からの質問にも答えていただけます。</p>	<p>長野総合法律事務所 弁護士 草津市学校問題 サポートチーム アドバイザー 峯本 耕治さん</p>	<p>8月2日 (火) 13:30 ～ 16:00</p>	教育研究所 研修室
5	教育相談講座	<p>「子どもを理解するためのアセスメントとその活用」</p> <p>学校現場で子どもたちが見せる様々な姿の背景には、家庭や地域、学校などの環境の課題が複雑に絡み合っており、子どもを理解するためのアセスメントが大変重要な意味をもちます。この講座では、学校現場で実際に起こっている事例を通して演習を行い、アセスメントの方法とその活用方法について考えていきます。</p>	<p>岡山県立大学准教授 草津市学校問題 サポートチーム アドバイザー 周防 美智子さん</p>	<p>7月27日 (木) 9:30 ～ 12:00</p>	教育研究所 研修室
6	特別支援教育講座	<p>「この子たちの応援団になりたい2 ～私たちだからこそできること～」</p> <p>特別な教育的ニーズのある子ども達は、多数派向けに用意された環境では、悪戦苦闘することが沢山あります。ですが、その特徴に気づき、大切に、応援する存在があることで、成長した姿を着実に見せてくれます。今年もいくつかの事例から、私たち学校教員にできること、やるべきことをみなさんと一緒に考えてくださいます。</p>	<p>野洲市立篠原小学校 校長 細谷 亜紀子さん</p>	<p>8月4日 (水) 13:30 ～ 16:00</p>	教育研究所 研修室

No.	講座名	主な内容	講師	日時	場所
7	学力向上講座①	<p>「指導に生きる評価と授業づくり～小学校国語科における個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す実践を例に～」</p> <p>学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりと評価を取り上げます。特に、子どもたちの個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す小学校国語科の授業づくりについて、多彩な実践や指導の工夫を具体例を通してご紹介いただけます。</p>	京都女子大学教授 水戸部 修治さん	7月22日 (金) 14:00 ～ 16:30	教育研究所 研修室
8	学力向上講座②	<p>「算数科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～学習指導要領の趣旨の実現に向けて～」</p> <p>中教審の答申で示された「個別最適な学びと協働的な学び」をどのように充実していくのか。学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善をどう進めていくのか。滋賀県が進めている「読み解く力」と関連付けて具体的な実践事例を挙げて紹介していただきます。夏休み明けの授業づくりのヒントをいただけます。</p>	滋賀大学教職大学院 准教授 大橋 宏星さん	8月5日 (金) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室
9	英語教育	<p>「スモールトークで広がる小学校外国語 ～生きて働く英語を身につける授業の工夫と単元づくり～」</p> <p>どんな授業を展開したら、即興的に英語を使おうとする子どもの姿を引き出すことができるのか。草津市の子どもたちの課題を踏まえ、スモールトークや単元を意識した授業づくり、イメージ教育などについて実践事例を交えて解説していただきます。</p> <p><b>*第2回英語推進委員会と兼ねています。</b></p>	佛光大学准教授 赤沢 真世さん	7月26日 (火) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室
10	特別活動・道徳教育講座	<p>「豊かな人間性を育み、道徳的实践につながる特別活動」</p> <p>特別活動では、様々な集団活動や体験活動が行われ、多くの道徳的実践・道徳的行為を行う機会と場があります。特別活動指導としての充実と、道徳的実践としての充実を別に考えるのではなく、実践の中でそれぞれの充実を図っていくための指導や活動のポイントを、杉田教授よりわかりやすく教えていただきます。</p> <p><b>*草津市道徳教育推進教師研修会と兼ねています。</b></p>	國學院大学 教授 杉田 洋さん	7月29日 (金) 13:30 ～ 16:00	草津市役所 2F特大会議室 ステージ側
11	ICT教育講座	<p>「モデル授業実施者が語るNew草津型アクティブ・ラーニング」</p> <p>単元を通すNew草津型アクティブ・ラーニングとはどんな授業か？児童生徒の学習の様子は？タブレットをどのように活用しているのか？児童生徒にどんな力がついたのか？評価はどうしているのか？など、具体的な実践を通して説明していただけます。</p>	学校政策推進課 糠塚 一彦さん 学校教育課 奥村 健二さん 高橋中学校 中西 一雄さん 草津小学校 山中 勇弥さん 関口 徹さん 志津小学校 西村 陽介さん	7月25日 (月) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室
12	くさつ教員塾1 体育実技講座	<p>「教育機会を見逃さないスポーツ指導」</p> <p>内容：学校スポーツ活動を通じたポジティブな青少年の育成についてエビデンスに基づいたポイントを学びます。</p> <p>「青少年のコンディショニングと慢性スポーツ障害」</p> <p>内容：青少年期に多いスポーツ傷害とその予防方法について実技講習を交えて理解を深めます。</p>	立命館大学 (トレーナーズチーム) アスレティックトレーナー 岡松 秀房さん	8月4日 (木) 9:30 ～ 12:00	草津小学校 体育館
13	くさつ教員塾2 幼児教育講座 (幼児課共催)	<p>「遊びと学びをつなぐ円滑な接続に向けて」</p> <p>なぜ幼児期の遊びと児童期の学びを接続することが必要なのか。円滑な接続に向けて、各就学前施設や小学校が取り組むべき内容や、円滑な接続が生み出す互恵性についてお話しいただきます。</p> <p><b>*小学校の幼小中連携担当者・小学1年生担任に向けての研修会と兼ねています。</b></p>	鳴門教育大学 教授 木下 光二さん	7月26日 (火) 13:00 ～ 15:30	教育研究所 研修室
14	くさつ教員塾3 理科教育講座	<p>「身近な自然 草津川について知ろう～草津川の事前観察と防災について～」</p> <p>草津川の生き物を観察します。指標生物といわれるいくつかの水生昆虫を観察することにより、川の水質を調べます。また、草津市は天井川の扇状地に発達した街です。防災の視点からも草津川について考えてみましょう。</p>	市内CST教員	7月29日 (金) 9:30 ～ 12:00	草津市役所 アミカホール玄関 前集合

# 研究発表大会

日時：令和4年8月1日（月）

場所：草津市立教育研究所 研修室



## 第1部 令和3年度草津市教育研究奨励事業表彰者による発表

13:00～14:15

- ① 幼児教育の本質が見える・伝わる・実感できる教育実践  
～誰もが“かがやき”、誰もが“あきらめない”、矢倉幼稚園～  
矢倉こども園 幼児教育の可能性を切り拓く会  
代表 宇野 智子さん(現山田こども園)
- ② 「中学校社会科における適正な評価に関する研究」  
～主体的に学習に取り組む態度の評価に焦点を当てて～  
草津中学校 教諭 水谷 哲郎さん
- ③ 数学的に表現し伝え合う活動を大切にした授業の工夫  
山田小学校 教諭 土井 祐磨さん



## 第2部 教育講演会 14:30～16:20

- 研究報告 情報活用能力を伸ばすための授業改善  
～一人一台のタブレット端末を活用して～  
草津市立教育研究所令和3年度研究員 草津小学校 陌間 智さん
- 講演

開会行事 14:30～14:35  
研究報告 14:35～14:50  
講演 14:50～16:20

まずやってみるESD

演題

講師 奈良教育大学 教授 中澤 静男さん

### 【講演の概要】

ESD は教育の質を向上させます。教員の力量形成にもつながります。そして何よりも持続可能な社会の創り手を育てる教育です。最近、SDGsという言葉をよく耳にしますが、身近な地域から SDGsの達成に貢献する教育が ESD です。本講演では、とにかくやってみようという ESD 実践への意欲の向上を目指します。



主催 草津市教育委員会  
草津市立教育研究所

# NITS のオンライン講座のご紹介



新しいコンテンツが追加されています。こちらもぜひご活用ください

No.94	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して	中央教育審議会 第10期初等中等教育分科会長 荒瀬 克己
No.95	自殺予防(前編)	関西外国語大学 新井 肇
No.96	不登校児童生徒の理解と保護者への支援	開善塾教育相談研究所 藤井 育子
No.97	学校のビジョンと戦略	千葉大学 天笠 茂
No.98	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育 ～特別支援学級における指導の在り方:理論編～	聖徳大学 吉本 恒幸
No.99	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育 ～特別支援学級における指導の在り方:実践編～	聖徳大学 吉本 恒幸
No.100	ハンセン病問題学習 差別の連鎖を断つ ーハンセン病問題から学び、伝えるー	盈進中学高等学校 延 和聰
No.101	学校内外環境の分析と特色づくり	兵庫教育大学大学院 浅野 良一
No.102	学校ビジョンの理解と共有	兵庫教育大学大学院 浅野 良一
No.103	教職員が育つ学校づくり ～校内 OJT の考え方と進め方～	兵庫教育大学大学院 浅野 良一
No.104	「人」台端末の活用による情報活用能力の育成	信州大学教育学部 佐藤 和紀
No.105	スクールコンプライアンス(著作権)	東京学芸大学 佐々木 幸寿
No.106	ESD(持続可能な開発のための教育)	宮城教育大学教育学部 市瀬 智紀
No.107	主権者教育の推進①～現代的な諸課題に対応して 求められる資質・能力の育成～	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 磯山 恭子
No.108	主権者教育の推進②～指導上の政治的中立の確保 等の留意点～	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 磯山 恭子
No.109	キャリア・パスポート	筑波大学人間系 藤田 晃之



独立行政法人教職員支援機構



NITS 校内研修シリーズ 検索



# やまびこだより



☎ 077-563-1270

## たびすけDayのご案内

詳しい申し込み方法は、各学校に送付している案内をご確認ください



たびすけ Day とは・・・

市内の小・中学校の不登校および不登校傾向の児童生徒とその保護者の方々を対象にやまびこ教育相談室および適応指導教室の活動を見学、体験していただくとともに、スタッフとの相談や交流もしていただけます。開催日時等は下記のとおりです。

開催予定日		活動内容(予定)
7月6日(水)	10:00~12:00	文化芸術体験(型絵染めトートバッグ作り)
【サマースクール】		室内ゲーム&制作
8月19日(金)	10:30~12:00 13:30~15:00	★詳しくは別紙案内します。
10月上旬	10:30~12:00	室内レクリエーション(未定)
11月中旬	10:30~12:00	制作(プラ板キーホルダー)
1月下旬	10:30~12:00	室内レクリエーション(囲碁ボール)

## ～6月の特別活動～



### じゃがいも掘り

ボランティアさんの畑で、キタアカリ・男爵・メークインの3種類のじゃがいもを掘らせていただくことができました。暑い中ではありましたが、子どもたちの真剣に取り組む姿や、じゃがいもが掘れたときの嬉しそうな表情を見ることができました。

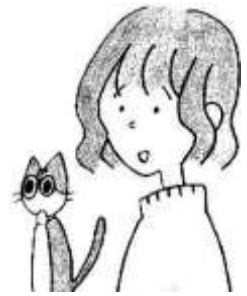
### ミニ講座「滋賀こそかるた」

滋賀の様々な名所や歴史ある文化が描かれたかるたを使って遊びました。遊びながら学ぶ中で、今まで知らなかった滋賀の良いところを発見することができました。





# スクールソーシャルワーカー SSW恒松先生が語る シリーズ教育相談



## 子どもの心を聴く



「聴くが効く」この言葉は、町の「なんでも相談」の窓口で、長年多くの方の相談にのってこられていたベテラン相談員さんがおっしゃっていた言葉です。私は直接お会いしたことはないのですが、「結局、相談員からのアドバイスや意見はあんまり役に立たず、相談者の声に耳を傾け、共感することで相談者は自ら答えを見つけ、踏み出していかれる。」と、傾聴の大切さを後進に教えておられたそうです。



子ども達はそれまでの経験や持っている情報量が十分ではない為ため、「聞くだけで」とはなかなかない場合もあるかと思いますが、それでもこの原理はあてはまるのではないのでしょうか。子どもと大人では見ている世界が違います。それでも、大人は子どもの内的世界を想像し、共感するよりも、自分たちの見ている世界や考え方を（彼らは全く理解していないかもしれないのに）子どもの側に押し付けがちです。その結果、こちらはそんなつもりはなくても「どうせ聞いてもらえない」「どうせわかってもらえない」「どうせ否定される」と子ども達に思わせてしまいます。子ども達の心を理解するためには、やはり「まず傾聴する」ことが大切です。



それでも、子ども達は、特に思春期にさしかかると、既に大人への不信感を持っていることも多く、なかなかこちらの「聴こう」とする思いを受け入れてくれません。

子どもが「聴いてもらっている」と感じる聞き方（応答の仕方）には幾つかのコツがあります。

そのうちの一つは「相手の言葉を繰り返す」ことです。

適度に相手の使った単語やセンテンスを自分の応答の中に入れると、思いのほか会話がスムーズに進みます。普段何気なくそうしていることも多いかと思いますが、意識してそうしてみると、子どもの言葉数が増え、自分も目の前の子どもの言わんとしていることに思いを寄せていることに気がきます。



また、伝え方のコツの一つは、「『I』メッセージで空に向かって（又は周囲の人に）つぶやくように語る」と、こちらの意見としてジワジワと伝わる事が多いように思います。

子どもは、アドバイスや指導、褒め言葉であっても言葉が自分にベクトルを向けられると、思わず反発しがちです。でも、同じ言葉でもベクトルがよそに向かって発されると、「安心できる情報」として子どもに届くことが多いです。

人の心は目に見えません。目の前の子どもが物事をどのように捉え、感じ、思い、何を言わんとしているのか。それを理解しようと耳を傾けることで心が聴こえてくるのだと思います。



# シリーズ 司書さんおすすめの絵本



## 「ピーターのいす」(エズラ=ジャック=キーツ/作・画、木島 始/訳 偕成社)

ピーターには生まれて間もない妹がいます。両親は妹の世話で忙しく、ピーターが使っていた椅子やベッドも妹が使うために色を変えてしまいます。自分のいた場所が妹のものに変わっていくかのような様子を見たピーターは、犬のウィリーと家出をしようと考えます。

こども目線ならではの考え方がたくさん詰まっており、ページをめくるたびに变化するピーターの心情と心の成長に、こども達も共感するでしょう。



## 「すてきな三にんぐみ」(トミー=アンゲラー/作、いまえ よしとも/訳 偕成社)

黒いマントに黒い帽子の三人組は、夜になったら山を降り、宝を見つけては、人々を怖がらせ、奪っていきます。この三人組に出会うと誰も気を失い、逃げ出してしまう程。ある夜、三人組はさらった少女に、奪った宝の使い道を聞かれ、「すてきなこと」を思い付きます。

暗い色使いや、三人組の表情が見えないこともあり、怖そうな印象を受けますが、「すてきなこと」が見えてくるにつれて、きっと誰もが三人組を好きになります。



## 「ちょっとだけまいご」(クリス・ホートン/作、木坂 涼/訳 BL 出版)

ちびフクロウは巣から落ちて迷子になってしまいます。近くにお母さんが見当たらず放心状態のちびフクロウに、「おいらがかあちゃんをみつけてやる。」と近くにいたリスが声をかけます。リスは、ちびフクロウのジェスチャーをたよりに色々な場所へ連れ出します。

小さな体で一生懸命お母さんの姿を表現するちびフクロウと、それを見てあちこち案内するリスですが、なかなかお母さんは見つかりません。小さな体で、寂しさに負けず、お母さんを探し続ける二匹の姿から目が離せません。



## 読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力を得て作成しています。

